南洲手抄言志録

南洲言志録手抄序

秋月種樹

青空文庫

佐藤一齋言志録凡一千三十四條。行于世。西郷南洲手抄其一百餘條。藏于家。余嘗遊鹿兒島而觀之。沙汰精確。旨義簡明。亦可以窺南洲之學識矣。嗚呼南洲夙抱勤王之志。致匪躬之節。間關崎嶇。死而復蘇。謀國而不謀身。身益困而人益信。言志録所謂。我執公情以行公事。天下無不服。南洲實行之矣。德川氏之末造。怠惰成風。志氣衰弱。天厭幕府。將興維新之大業。南洲能率大軍夷叛亂。叱咤一聲。萬軍披靡。非得士心豈能如是乎。言志録所謂。因民義以激之。因民欲以趨之。則民忘其生而致其死。是可以一戰也。南洲實行之矣。夫南洲之得人心。立功業如彼。而晩節末路如此。可惜也。此編所載。毫無與道相背。後進之徒能讀之。可以進德也。可以臨死而不畏也。余嘗聞。南洲之學術基於餘姚。及得此書。始信焉。近者余在日南。閑散無事。時出此書評之。夫今古史乘不能無謬。如賴氏外史。問諸史官。則曰有謬矣。夫名家據史傳。引用撰著。猶且然。況此評。事實往々取諸傳聞。未保其無謬也。今將刻之。香竹先生爲寫字。每一版成。訂正及筆意。余悦曰。吾評不足讀。而其書可法矣。

明治丁亥六月

秋月種樹撰

青空文庫情報

底本：「西郷南洲遺訓」岩波文庫、岩波書店
1939（昭和14）年2月2日第1刷発行
1985（昭和60）年2月20日第26刷発行
底本の親本：「南洲手抄言志録」博聞社
1888（明治21）年5月17日発行
初出：「南洲手抄言志録」博聞社
1888（明治21）年5月17日発行
※「褒」の「保」に代えて「丑」」は「デザイン差」と見て「衰」で入力しました。
入力：田中哲郎
校正：川山隆
2008年7月11日作成
2009年9月1日修正
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

南洲手抄言志録

南洲言志録手抄序

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

著者　　秋月種樹
URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/